

## 適正な年齢構成の実現について

滋賀大学では、「国立大学法人滋賀大学人事基本方針」を定め、「未来創生」型の文理融合教育、価値の創造に貢献する研究の推進を進め、社会との連携・協働を通じ、社会・地域のイノベーションを創出する拠点としての機能を強化していくことを目指し、中長期的な財政展望を踏まえ、多様性を重視した教育研究組織の充実と持続可能な発展に向けて、適正な人事政策を進めています。

適正な年齢構成については、知の集積拠点として、持続的に新たな価値を創出し、発展し続けるための基盤を構築するため、若手教員の比率向上に重点を置く必要があることから、全学として若手教員比率 16%以上の達成を目標値として設定している。

### 【大学教員の年齢構成における目標比率】

若手教員（40歳未満） 16%以上

### 【参考】

大学教員における年齢階層ごとの在職比の推移

第4期中期目標・中期計画期間

各年度5月1日現在

年度	若手教員 (40歳未満)	中堅教員 (40歳以上～60歳未満)	シニア教員 (60歳以上)
令和4年度	12.8%	68.0%	19.2%
令和5年度	14.1%	66.5%	19.4%